

令和 2 年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価対象事業

基本目標 8 郷土の歴史・文化の保存と次世代への継承

- ☞ 郷土の歴史・文化に親しむことで、郷土への愛着や誇りを醸成します。
- ☞ 市民や関係機関と行政が協力し、郷土の歴史・文化遺産の保護、活用を進め、次世代へ継承します。

〔具体的な取り組みと内容〕

施策 33 文化財の保護・活用	
文化財の保護	文化財保護審議会において、市内文化財の調査を行い、保護を進めます。また、大草のマメナシ自生地の保存活用計画を策定するなど、文化財の保護活用に努めます。
文化財の案内機能の充実	文化財のPRや活用を進めるため、現地に案内看板を設置するなど、周辺環境の整備を進めます。
施策 34 歴史・文化財・生活文化についての啓発・活用	
古文書・歴史に関する講座等の開催	古文書や歴史に関する講座等を開催します。幅広い世代が興味を持てるよう、内容の充実に努めます。
施策 35 小牧山の整備・活用	
主郭地区整備基本計画の推進	史跡小牧山主郭地区第13次発掘調査を実施します。
企画展等の開催による小牧山の歴史的価値や魅力の啓発	小牧山の南東の麓にある小牧山城史跡情報館において、最新の発掘調査成果の公表や企画展等を開催することによって、来館者への小牧山の歴史的価値や魅力の啓発に努めます。
施策 37 市民との協働による歴史・文化の継承活動の展開	
歴史ガイドボランティアと連携した展示品・文化財の解説	歴史館や小牧山城史跡情報館において、歴史ガイドボランティアによる展示資料の解説を行います。

点検評価シート（令和2年度実績）

具体的な取組 (教育振興基本計画の施策番号)	文化財の保護（施策33）	担当課 文化財課
内 容	文化財保護審議会において、市内文化財の調査を行い、保護を進めます。また、大草のマメナシ自生地の保存活用計画を策定するなど、文化財の保護活用に努めます。	
達 成 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・市内文化財調査については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施を見合わせています。 ・大草のマメナシ自生地保存活用計画については、文化財保護審議会（11月18日、1月29日開催）で審議を行い、今年度中に策定する予定です。 	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな文化財を見出すため、文化財調査を行い、指定する価値がある物件は、市の文化財に指定し、保護していく必要があります。 ・策定した大草のマメナシ自生地保存活用計画に基づき、自生地の保存等を行っていく必要があります。 ・既に指定している市指定文化財について、計画的に現状把握を行う必要があります。 	
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・調査先（創建の古い寺院等）を選定して文化財調査を実施し、新たな文化財の発掘を行っていきます。 ・策定した大草のマメナシ自生地保存活用計画に基づき、自生地の保存等を行っていきます。 ・市指定文化財の保護に向けて、所有者との連携の強化など指定文化財の現状把握の方法について検討していきます。 	
文化財保護審議会委員の意見等		

点検評価シート（令和2年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	文化財の案内機能の充実（施策33）	担当課 文化財課
内 容	文化財のPRや活用を進めるため、現地に案内看板を設置するなど、周辺環境の整備を進めます。	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に市の文化財に指定した木造千手観音菩薩立像、木造地藏菩薩坐像（以上、小松寺所有）、釈迦涅槃図（正眼寺所有）について、文化財説明板の新設、今年度、県指定文化財から国指定重要文化財となった木造十一面観音坐像（賢林寺所有）について既設説明板の板面張替え及び既設説明板で板面が劣化している絹本着色千手観音菩薩像（小松寺所有）の説明板の板面張替えについて、原稿の作成を行っており、今年度中に設置、張替えを行います。 なお、釈迦涅槃図の説明板には、正眼寺所有の国指定重要文化財銅造誕生釈迦仏立像、市指定文化財無縫塔についても記載し、3件を1枚の説明板にまとめます。 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・既設説明板の維持管理（状況確認、板面清掃）を行い、文化財への来訪者に対して常に情報提供できるようにしておく必要があります。 ・現地の説明板だけでなく、市HPやパンフレットによる情報提供を継続していく必要があります。 	
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・既設説明板の維持管理（状況確認・報告、板面清掃等）について、文化財所有者による実施体制を検討します。 ・引き続き、現地の案内に加えて、市HPやパンフレットによる情報提供、内容更新を行っていきます。 	
文化財保護審議会委員の意見等		

点検評価シート（令和2年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	古文書・歴史に関する講座等の開催（施策34）			担当課 文化財課																																		
内 容	古文書や歴史に関する講座等を開催します。幅広い世代が興味を持てるよう、内容の充実に努めます。																																					
達成状況	<p>・愛知文教大学に委託を行い、下記のとおり講座及び展示を開催しました。</p> <p>●講座</p> <p>・古文書講座</p> <table border="1" data-bbox="464 651 1410 853"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>講師</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初級</td> <td>11月7日、14日、21日、28日</td> <td>酒向道夫氏</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>中級</td> <td>同上</td> <td>藤堂修一氏</td> <td>17名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・文化財巡り（小牧山・間々観音）</p> <table border="1" data-bbox="464 943 1410 1093"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>案内人</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月8日</td> <td>篠田徹 ほか 文化財地図作成委員会委員</td> <td>27名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・歴史文化基礎講座</p> <table border="1" data-bbox="464 1182 1410 1532"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>演題</th> <th>講師</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月14日</td> <td>織田信長のやきもの 施策 ～一通の朱印 状をめぐる～</td> <td>赤羽一郎氏</td> <td>112名</td> </tr> <tr> <td>11月28日</td> <td>名所図会に描かれた 小牧</td> <td>山本祐子氏</td> <td>132名</td> </tr> <tr> <td>12月5日</td> <td>木曾街道と小牧宿</td> <td>勝亦貴之氏</td> <td>122名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・食講座（夏休み食講座、伝統食講座）、歴史講座、第3回小牧の古文書展関連講座を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。</p> <p>※古文書講座、歴史文化基礎講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年の1/2の定員としています。</p> <p>●展示</p> <p>・第3回小牧の古文書展 「小牧宿のなりたち ～江崎文書を中心に～」</p>					開催日	講師	受講者数	初級	11月7日、14日、21日、28日	酒向道夫氏	21名	中級	同上	藤堂修一氏	17名	開催日	案内人	参加者数	11月8日	篠田徹 ほか 文化財地図作成委員会委員	27名	開催日	演題	講師	受講者数	11月14日	織田信長のやきもの 施策 ～一通の朱印 状をめぐる～	赤羽一郎氏	112名	11月28日	名所図会に描かれた 小牧	山本祐子氏	132名	12月5日	木曾街道と小牧宿	勝亦貴之氏	122名
	開催日	講師	受講者数																																			
初級	11月7日、14日、21日、28日	酒向道夫氏	21名																																			
中級	同上	藤堂修一氏	17名																																			
開催日	案内人	参加者数																																				
11月8日	篠田徹 ほか 文化財地図作成委員会委員	27名																																				
開催日	演題	講師	受講者数																																			
11月14日	織田信長のやきもの 施策 ～一通の朱印 状をめぐる～	赤羽一郎氏	112名																																			
11月28日	名所図会に描かれた 小牧	山本祐子氏	132名																																			
12月5日	木曾街道と小牧宿	勝亦貴之氏	122名																																			

点検評価シート（令和2年度実績）

	<p>期間 1月9日～1月17日</p> <p>会場 まなび創造館 ギャラリー2</p>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代に古文書・歴史に関心をもってもらえるよう、子ども向けの講座を実施する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代に古文書・歴史に関心をもってもらえるよう、子ども向けの講座を実施していきます。
文化財保護審議会委員の意見等	

点検評価シート（令和2年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	主郭地区整備基本計画の推進（施策35）	担当課 小牧山課
内 容	史跡小牧山主郭地区第13次発掘調査を実施します。	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・山頂西側下の曲輪斜面と山頂東側の屋外トイレ跡地周辺で発掘調査を行った結果、築城時の石垣や玉石敷遺構、西側の出入口を確認しました。石垣は山頂から2段目と3段目の石垣が残存し、2段目の石垣では屈曲する部分（出隅）を1箇所確認しました。玉石敷遺構はこれまで確認したなかでも最大規模で、当時の城内通路の舗装や庭の一部であった可能性が考えられます。 	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査や史跡整備については文化庁、有識者等の検討、指導を経て慎重に進める必要があるため、整備を完了し、成果を市民に還元するまでに期間を要します。 ・事業の実施にあたり、史跡整備の重要性や必要性について市民に周知を図り、理解を得る必要があります。 	
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度より実施している小牧山城主郭地区の発掘調査成果をもとに、来年度より歴史館周辺を5工区に分け、順次史跡整備工事を行います。 ・令和3年度は、主郭地区第2・3工区の発掘調査を実施するなど引き続き小牧山城の調査・研究を進めます。 ・市HP、れきしるこまきにおける展示及び現地公開等により、発掘調査や史跡整備の成果や今後の予定について、周知に努めます。 	
文化財保護審議会委員の意見等	.	

点検評価シート（令和2年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	企画展等の開催による小牧山の歴史的価値や魅力の啓発（施策35）	担当課 小牧山課																												
内 容	小牧山の南東の麓にある小牧山城史跡情報館において、最新の発掘調査成果の公表や企画展等を開催することによって、来館者への小牧山の歴史的価値や魅力の啓発に努めます。																													
達成状況	<p>・指定管理者である（一財）こまき市民文化財団により、歴史講座や企画展を行いました。</p> <p>●れきしるこまき講座</p> <table border="1" data-bbox="469 651 1390 943"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>テーマ</th> <th>講師</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月8日</td> <td>あつまれお城好きっず！最強のお城をつくろう！！</td> <td>川崎昭氏</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>9月6日</td> <td>90分後、石垣の見方がかわるお話</td> <td>いなもとかおり氏</td> <td>40名</td> </tr> </tbody> </table> <p>●企画展</p> <p>・「小牧山城最前線！令和元年度発掘調査速報展」 期間 6月1日～6月30日 入場者数 1,851人</p> <p>・「信長だけじゃない！小牧山をめぐる人々」 期間 9月11日～11月3日 入場者数 9,561人</p> <p>●企画展記念イベント</p> <table border="1" data-bbox="464 1420 1385 1619"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>テーマ</th> <th>講師</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月12日</td> <td>春風亭昇太師匠と巡る！リアル小牧山散歩</td> <td>春風亭昇太氏</td> <td>28名</td> </tr> </tbody> </table> <p>●れきしるこまきオープン1周年記念講座</p> <table border="1" data-bbox="464 1715 1385 1915"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>テーマ</th> <th>講師</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月10日</td> <td>信長の小牧山城—その歴史的意義を読み解く—</td> <td>千田嘉博氏</td> <td>486名</td> </tr> </tbody> </table>		開催日	テーマ	講師	受講者数	8月8日	あつまれお城好きっず！最強のお城をつくろう！！	川崎昭氏	11名	9月6日	90分後、石垣の見方がかわるお話	いなもとかおり氏	40名	開催日	テーマ	講師	参加者数	10月12日	春風亭昇太師匠と巡る！リアル小牧山散歩	春風亭昇太氏	28名	開催日	テーマ	講師	受講者数	1月10日	信長の小牧山城—その歴史的意義を読み解く—	千田嘉博氏	486名
開催日	テーマ	講師	受講者数																											
8月8日	あつまれお城好きっず！最強のお城をつくろう！！	川崎昭氏	11名																											
9月6日	90分後、石垣の見方がかわるお話	いなもとかおり氏	40名																											
開催日	テーマ	講師	参加者数																											
10月12日	春風亭昇太師匠と巡る！リアル小牧山散歩	春風亭昇太氏	28名																											
開催日	テーマ	講師	受講者数																											
1月10日	信長の小牧山城—その歴史的意義を読み解く—	千田嘉博氏	486名																											

点検評価シート（令和2年度実績）

	<p>●れきしるこまきワークショップ</p> <table border="1" data-bbox="470 264 1364 465"> <thead> <tr> <th data-bbox="470 264 657 315">開催日</th> <th data-bbox="657 264 981 315">内容</th> <th data-bbox="981 264 1189 315">講師</th> <th data-bbox="1189 264 1364 315">受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="470 315 657 465">8月2日</td> <td data-bbox="657 315 981 465">小牧山城の発掘品とふれてみよう！</td> <td data-bbox="981 315 1189 465">小野友記子 (小牧山課職員)</td> <td data-bbox="1189 315 1364 465">17名(保護者8名)</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	講師	受講者数	8月2日	小牧山城の発掘品とふれてみよう！	小野友記子 (小牧山課職員)	17名(保護者8名)
開催日	内容	講師	受講者数						
8月2日	小牧山城の発掘品とふれてみよう！	小野友記子 (小牧山課職員)	17名(保護者8名)						
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの方にご来場いただけるよう、指定管理者と連携しながら小牧山城の歴史や魅力を発信する方法を検討する必要があります。 ・コロナ禍においても、小牧山城の歴史を広く知っていただくため情報発信をしていく必要があります。 								
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者である（一財）こまき市民文化財団において、企画展やワークショップ等を開催するとともに、（一社）小牧市観光協会とも連携して、施設のPRに努めます。 ・ガイダンス施設としての機能を果たすべく、小牧山城主郭地区での最新の発掘調査成果の公表や企画展を開催することによって、小牧山城の歴史的価値や魅力を来場者に情報発信します。 ・ツイッター、フェイスブック等を活用することにより、小牧山城に足を運べない方に向けて、オンラインでの情報発信をします。 								
文化財保護審議会委員の意見等									

点検評価シート（令和2年度実績）

具体的な取組 （教育振興基本計画の施策番号）	歴史ガイドボランティアと連携した展示品・文化財の解説（施策37）	担当課 文化財課
内 容	歴史館や小牧山城史跡情報館において、歴史ガイドボランティアによる展示資料の解説を行います。	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者である（一財）こまき市民文化財団により、歴史ガイドボランティアによる展示資料解説を行う予定でしたが、令和2年3月から5月末まで、新型コロナウイルス感染拡大防止措置として、歴史館および小牧山城史跡情報館を休館したこと、また、6月より通常開館した後も、一度に入館できる人数を30人に制限したことなどから、令和2年度は展示資料の解説等は実施を見送りました。 	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における歴史ガイドボランティアによる展示資料の解説のあり方について、検討していく必要があります。 ・代替案として、デジタル機器による音声解説等の手法も考えられますが、機器の購入や音声プログラム等の作成に多額の費用がかかります。 	
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止措置としての休館や、ガイドボランティアの中止期間を利用し、ガイドボランティア体制の見直しやガイドのレベル向上を目指した研修の実施等を行います。 ・歴史館や小牧山城史跡情報館の指定管理者である、こまき市民文化財団と連携し、コロナ禍における他市町の博物館や資料館での展示資料の解説方法について調査・検討していきます。 ・展示解説シートの作成等を検討します。 	
文化財保護審議会委員の意見等		